

令和4年度（2022年度）

日本大学大学院芸術学研究科入学試験案内

日本大学大学院芸術学研究科

〒176-8525 東京都練馬区旭丘2-42-1

TEL：03-5995-8202<教務課大学院係>

FAX：03-5995-8209

E-mail：art.graduateschool@nihon-u.ac.jp

目 次

I	令和4年度（2022年度）日本大学大学院芸術学研究科入学試験案内	
1	試験区分・募集専攻	1
2	試験科目	1
3	試験期日等	3
4	入学検定料及び学費等	4
5	博士前期課程一般入学試験出願時に必要な書類等一覧	5
6	博士後期課程一般・社会人入学試験出願時に必要な書類等一覧	6
7	入学定員	7
8	令和4年度（2022年度）大学院芸術学研究科入学者の授業校舎	7
II	令和4年度（2022年度）大学院入学試験 小論文試験・実技試験・論文試験等の詳細	8
III	令和4年度（2022年度）大学院入学試験 審査のための提出作品・論文等の詳細	
1	博士前期課程《外国人留学生入学試験・一般入学試験》	9
2	博士後期課程《外国人留学生入学試験・一般入学試験・社会人入学試験》	11
IV	令和4年度（2022年度）日本大学大学院芸術学研究科入学試験出願資格	
1	博士前期課程一般入学試験	12
2	博士後期課程一般入学試験	13
3	博士後期課程社会人入学試験	13
V	大学院芸術学研究科の教育方針	
1	入学者受入れ方針（アドミッション・ポリシー）	14
2	学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）	14
3	教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）	14
VI	履修案内【令和3年度（2021年度）参考】	
1	博士前期課程文芸学専攻	15
2	博士前期課程映像芸術専攻	16
3	博士前期課程造形芸術専攻	17
4	博士前期課程音楽芸術専攻	18
5	博士前期課程舞台芸術専攻	19
6	博士後期課程芸術専攻	20
VII	芸術学研究科研究指導教授一覧	
1	博士前期課程	21
2	博士後期課程	22

1 試験区分・募集専攻

- ① 外国人留学生入学試験 《博士前期課程》文芸学, 映像芸術, 造形芸術, 音楽芸術, 舞台芸術
《博士後期課程》芸術
- ② 学部内選考入学試験 《博士前期課程》文芸学, 映像芸術, 造形芸術, 音楽芸術, 舞台芸術
- ③ 一般入学試験 《博士前期課程》文芸学, 映像芸術, 造形芸術, 音楽芸術, 舞台芸術
《博士後期課程》芸術
- ④ 社会人入学試験 《博士後期課程》芸術

〈注〉 大学院芸術学研究科へ出願する場合, 博士前期課程・後期課程ともに出願前に希望指導教授との事前面談が必要になります。希望指導教授の指定にあたっては, 芸術学研究科ホームページをご覧ください。研究指導の可否及び研究領域を確認し, 希望指導教授が決まりましたら「事前相談・連絡申込フォーム」よりお申込みください。後日, 教務課大学院係より事前面談の日時・実施方法等をメールにてお知らせいたします(研究指導領域の相違や研究テーマ・研究内容によっては事前面談をお受けできない場合があります)事前面談を経て, 指導教授や研究内容等の確認完了後, 大学院係より「事前連絡確認書」を交付します。出願手続きの際は, 必ず他の出願書類とともに「事前連絡確認書」を提出してください。 **申込み締切日は, 芸術学研究科ホームページや入学試験要項をご確認ください。**

2 試験科目

専攻	試験区分	試験科目
博士前期課程 文芸学	外国人留学生	① 日本語による小論文試験 ② 日本語による口述試験
	学部内選考	① 日本語による口述試験 ② 日本語による小論文試験
	一般	① 外国語試験 ※ 辞書参照可 英語・独語・仏語のうち自国語を除く1か国語選択 ただし外国人留学生に限り日本語選択も可 ② 日本語による小論文試験 ③ 日本語による口述試験
博士前期課程 映像芸術	外国人留学生	① 日本語による小論文試験 ② 論文(日本語)または作品審査 ③ 日本語による口述試験
	学部内選考	日本語による口述試験
	一般	① 外国語試験 ※ 辞書参照可 英語・独語・仏語のうち自国語を除く1か国語選択 ただし外国人留学生に限り日本語選択も可 ② 日本語による小論文試験 ③ 論文(日本語)または作品審査 ④ 日本語による口述試験
博士前期課程 造形芸術	外国人留学生	① 日本語による小論文試験または実技試験 ② 作品または論文(日本語)審査 ③ 日本語による口述試験
	学部内選考	① 日本語による口述試験 ② 作品等の審査
	一般	① 外国語試験(造形理論分野のみ実施) ※ 辞書参照可 英語・独語・仏語のうち自国語を除く1か国語選択 ただし外国人留学生に限り日本語選択も可 ② 日本語による小論文試験または実技試験 ③ 作品または論文(日本語)審査 ④ 日本語による口述試験

専攻	試験区分	試験科目
博士前期課程 音楽芸術	外国人留学生	① 外国語試験 ※ 辞書参照可 英語・独語・仏語・伊語のうち自国語を除く1か国語選択 ② 日本語による小論文試験 ③ 実技(筆記を含む)試験または論文(日本語)・作品審査 ④ 日本語による口述試験
	学部内選考	① 日本語による口述試験 ② 実技試験または論文(日本語)・作品審査
	一般	① 外国語試験 ※ 辞書参照可 英語・独語・仏語・伊語のうち自国語を除く1か国語選択 ただし外国人留学生に限り日本語選択も可 ② 日本語による小論文試験 ③ 実技(筆記を含む)試験または論文(日本語)・作品審査 ④ 日本語による口述試験
博士前期課程 舞台芸術	外国人留学生	① 日本語による小論文試験 ② 論文(日本語)または作品・資料審査 ③ 日本語による口述試験
	学部内選考	① 日本語による口述試験 ② 論文(日本語)または作品・資料審査
	一般	① 外国語試験 ※ 辞書参照可 英語・独語・仏語のうち自国語を除く1か国語選択 ただし外国人留学生に限り日本語選択も可 ② 日本語による小論文試験 ③ 論文(日本語)または作品・資料審査 ④ 日本語による口述試験
博士後期課程 芸術	外国人留学生	① 外国語試験 ※ 辞書参照可 英語・独語・仏語・伊語・日本語のうち自国語を除く1か国語選択 ② 日本語による論文試験 ③ 論文(日本語)または作品審査 ④ 日本語による口述試験
	一般	① 外国語試験 ※ 辞書参照可 英語・独語・仏語・伊語のうち自国語を除く1か国語選択 ただし外国人留学生に限り日本語選択も可 ② 日本語による論文試験 ③ 論文(日本語)または作品審査 ④ 日本語による口述試験
	社会人	① 日本語による口述試験 ② 業績審査 ③ 日本語による論文試験

<注1> 論文及び小論文試験のテーマ・字数・時間等は、原則として当日の試験時に指示します。

<注2> 論文及び小論文試験は、すべて辞書参照不可です。また、外国語試験において、辞書参照可とする場合の辞書は書籍辞書のみとし、電子辞書等は不可とします。

<注3> 審査作品・審査論文・実技試験等の詳細は別紙を参照してください。

<注4> 芸術学研究科では、一般・社会人入学試験の過去問題は公表していません。

3 試験期日等

① 博士前期課程

試験区分	専攻	入試要項等配布・頒布期間・場所	出願期間	試験期日	合格発表期日	入学手続期間
外国人留学生	文芸学	2021年6月中旬予定	2021年			2022年
	映像芸術	ダウンロード開始予定 (無料)	7月1日(木)	2021年	2021年	1月11日(火)
	造形芸術		〃	11月18日(木)	12月1日(水)	〃
	音楽芸術	日本大学ホームページにて	10月7日(木)			1月21日(金)
	舞台芸術		【本部学務部入学課へ郵送必着】		【インターネットにより発表】	※二段階手続締切日 =2021年3月11日(金)
学部内選考	文芸学	2021年9月下旬	2021年			2022年
	映像芸術	配布予定(無料)	9月29日(水)	2021年	2021年	2月24日(木)
	造形芸術		〃	11月18日(木)	12月1日(水)	〃
	音楽芸術	芸術学部教務課にて配布予定	10月21日(木)			3月8日(火)
	舞台芸術		【芸術学部教務課にて受付】		【速達郵便により通知】	
一般	文芸学	2021年10月下旬～	2022年			2022年
	映像芸術	ダウンロード開始(無料)	1月7日(金)	2022年	2022年	2月24日(木)
	造形芸術		〃	2月10日(木)	2月22日(火)	〃
	音楽芸術	日本大学ホームページにて	1月18日(火)			3月8日(火)
	舞台芸術		【芸術学部教務課へ郵送必着】		【速達郵便により通知】	

② 博士後期課程

試験区分	専攻	入試要項等配布・頒布期間・場所	出願期間	試験期日	合格発表期日	入学手続期間
外国人留学生	芸術	2021年6月中旬予定	2021年			2022年
		ダウンロード開始予定 (無料)	7月1日(木)	2021年	2021年	1月11日(火)
			〃	11月18日(木)	12月1日(水)	〃
		日本大学ホームページにて	10月7日(木)			1月21日(金)
			【本部学務部入学課へ郵送必着】		【インターネットにより発表】	※二段階手続締切日 =2022年3月11日(金)
一般	芸術	2021年10月下旬～	2022年			2022年
		ダウンロード開始(無料)	1月19日(水)	2022年	2022年	3月4日(金)
社会人	芸術		〃	2月19日(土)	3月2日(水)	〃
		日本大学ホームページにて	2月2日(水)			3月22日(火)
			【芸術学部教務課へ郵送必着】		【速達郵便により通知】	

<注1> 入学試験の詳細は、試験区分ごとの入学試験要項をよく確認してください。

<注2> 入学試験は、すべて日本大学芸術学部江古田校舎にて行います。

<注3> 外国人留学生入学試験合格者の場合、入学申込金方式により入学手続を二段階で行うこともできます。
詳細は合格後に案内される入学手続要項をご覧ください。

<注4> 学部内選考入試以外の入学試験要項及び願書は以下のURLからダウンロードしてください。
紙媒体による配布はしていません。

・外国人留学生入学試験(6月中旬頃 日本大学ホームページにて公開)

URL http://www.nihon-u.ac.jp/admission_info/application/international

・一般・社会人入学試験(10月下旬頃 日本大学ホームページにて公開)

URL http://www.nihon-u.ac.jp/admission_info/application/graduate/application_forms/

◎ 博士前期課程学部内選考入学試験出願資格

令和4年3月25日 日本大学芸術学部卒業見込みの者(学科・コースは不問)

◎ 博士後期課程社会人入学試験出願資格

日本国内の公共機関・企業等に現に勤務し、入学後も継続して勤務を続ける者

4 入学検定料及び学費等

① 入学検定料 35,000円

本研究科指定の振込用紙を使用し、金融機関から振り込んでください。

※ATM・ゆうちょ銀行からの振込はできません。

※外国人留学生入学試験受験者の納入方法は「外国人留学生入学試験要項」を参照してください。

※いったん納入された入学検定料は原則返還しません。

② 令和4年度(2022年度)学費等

(単位:円)

課程・専攻	納入区分	入学金 (入学時のみ)	授業料	施設設備資金	実験実習料	校友会費 【準会員】	前学期計 後学期計	初年度 年額	2年次以降 年額		
博士 前期課程	文芸学	入学手続時(前学期)納入金	200,000	300,000	100,000	20,000	10,000	630,000	1,050,000	850,000	
		後学期納入金	—	300,000	100,000	20,000	—	420,000			
	映像芸術	入学手続時(前学期)納入金	200,000	340,000	100,000	50,000	10,000	700,000	1,190,000	990,000	
		後学期納入金	—	340,000	100,000	50,000	—	490,000			
	造形芸術	入学手続時(前学期)納入金	200,000	355,000	100,000	45,000	10,000	710,000	1,210,000	1,010,000	
		後学期納入金	—	355,000	100,000	45,000	—	500,000			
	音楽芸術	入学手続時(前学期)納入金	200,000	355,000	100,000	55,000	10,000	720,000	1,230,000	1,030,000	
		後学期納入金	—	355,000	100,000	55,000	—	510,000			
	舞台芸術	入学手続時(前学期)納入金	200,000	340,000	100,000	35,000	10,000	685,000	1,160,000	960,000	
		後学期納入金	—	340,000	100,000	35,000	—	475,000			
	博士 後期課程	芸術	入学手続時(前学期)納入金	200,000	350,000	100,000	—	10,000	660,000	1,110,000	910,000
			後学期納入金	—	350,000	100,000	—	—	450,000		

※学内者(本大学を卒業した者または本大学院を修了した者)については入学金の納入はありません。

※修了予定年度の後学期に校友会正会員費初年度分として10,000円を代理徴収いたします。

5 博士前期課程一般入学試験出願時に必要な書類等一覧

(外国人留学生入試・学部内選考入試についてはそれぞれの入学試験要項を参照してください。)

※ ○=必要 ×=不要 △=卒業論文・作品・制作に代えることも可 (所定用紙=提出作品届を提出すること)

専攻	志願者区分	入学 志願票	成績 証明書	卒業証明書・ 卒業見込証明書	指導教授又はこれに 準ずる者の 推薦書 ※②を参照	提出作品・ 論文等証明書 ※③を参照	研究計画 概要書	事前連絡 確認書 (研究科より交付)
			※卒業見込者は発行日が出願前3ヶ月以内のもの					
文芸学専攻	芸術学部卒業見込者	○	○	○(卒業見込証明書)	×	×	○	×
	芸術学部卒業生	○	○	○(卒業証明書)	○	×	○	○
	日本大学他学部 卒業見込者及び卒業生	○	○	○	○	×	○	○
	他大学 卒業見込者及び卒業生	○	○	○	○	×	○	○
映像芸術専攻	芸術学部卒業見込者	○	○	○(卒業見込証明書)	×	△	○	×
	芸術学部卒業生	○	○	○(卒業証明書)	○	△	○	○
	日本大学他学部 卒業見込者及び卒業生	○	○	○	○	○	○	○
	他大学 卒業見込者及び卒業生	○	○	○	○	○	○	○
造形芸術専攻	芸術学部卒業見込者	○	○	○(卒業見込証明書)	×	△	○	×
	芸術学部卒業生	○	○	○(卒業証明書)	○	△	○	○
	日本大学他学部 卒業見込者及び卒業生	○	○	○	○	○	○	○
	他大学 卒業見込者及び卒業生	○	○	○	○	○	○	○
音楽芸術専攻	芸術学部卒業見込者	○	○	○(卒業見込証明書)	×	△	○	×
	芸術学部卒業生	○	○	○(卒業証明書)	○	△	○	○
	日本大学他学部 卒業見込者及び卒業生	○	○	○	○	○	○	○
	他大学 卒業見込者及び卒業生	○	○	○	○	○	○	○
舞台芸術専攻	芸術学部卒業見込者	○	○	○(卒業見込証明書)	×	△	○	×
	芸術学部卒業生	○	○	○(卒業証明書)	○	△	○	○
	日本大学他学部 卒業見込者及び卒業生	○	○	○	○	○	○	○
	他大学 卒業見込者及び卒業生	○	○	○	○	○	○	○

注意事項

- ① 二重線内は、本研究科所定用紙または所定用紙に準じた様式で作成すること。
 - ② 指導教授又はこれに準ずる者の推薦書については、原則在籍中又は卒業した大学等教育機関の指導教員が作成した推薦書(原則日本語又は英語)を提出すること。
 - ③ 提出作品・論文等については「提出作品・論文等の詳細」を参照し、提出する作品・論文等が自己のものであることの証明書を提出すること。原則在籍中又は卒業した大学等教育機関の指導教員が作成した証明書(原則日本語又は英語)とする。
 - ④ 音楽芸術専攻の実技試験実施分野(声楽、器楽、音楽学)への志願者は、上記の志願者区分に関わらず入学試験実技曲目届出書(本研究科所定用紙)を提出すること。
- ※ 身体の機能に著しい障害のある方は、受験及び就学が困難な場合もありますので、出願前のできるだけ早い時期に、必ず芸術学部教務課大学院係に相談してください。
- ※ いったん提出された出願書類及び納入された入学検定料は原則として返還しません。また、提出後の専攻・分野の変更は認めません。

6 博士後期課程一般・社会人入学試験出願時に必要な書類等一覧

(外国人留学生入試については外国人留学生入学試験要項を参照してください。)

※ ○=必要 ×=不要 △=修士論文・作品・制作に代えることも可 (所定用紙=提出作品届を提出すること)

専攻	志願者区分	入学 志願票	成績 証明書	修了証明書・ 修了見込証明書	指導教授又はこれに 準ずる者の 推薦書 ※②を参照	提出作品・ 論文等証明書 ※③を参照	研究計画書 等一式 調査票, 計画書, 創作業績リスト	事前連絡 確認書 (研究科より交付)
			※修了見込者は発行日が出願前3ヶ月以内のもの					
芸術 専攻	芸術学研究科修了見込者	○	○	○(修了見込証明書)	×	△	○	×
	芸術学研究科修了者	○	○	○(修了証明書)	○	△	○	○
	日本大学大学院他研究科 修了見込者及び修了者	○	○	○	○	○	○	○
	他大学院 修了見込者及び修了者	○	○	○	○	○	○	○

注意事項

- ① 二重線内は、本研究科**所定用紙または所定用紙に準じた様式で作成すること。**
- ② 指導教授又はこれに準ずる者の推薦書については、原則在籍中又は修了した大学等教育機関の指導教員が作成したもの（原則日本語又は英語）を提出すること。
- ③ 提出作品・論文等については「提出作品・論文等の詳細」を参照し、提出する作品・論文等が自己のものであることの証明書を提出すること。原則在籍中又は修了した大学等教育機関の指導教員が作成した証明書（原則日本語又は英語）とする。
- ④ 社会人入試志願者は、上記の志願者区分にかかわらず以下の2点を加えて提出すること。
 - (1) **研究業績報告書（本研究科所定用紙）**
 - (2) **勤務先所属長の推薦書**

※ 身体の機能に著しい障害のある方は、受験及び就学が困難な場合もありますので、出願前のできるだけ早い時期に、**必ず芸術学部教務課大学院係に相談してください。**

※ **いったん提出された出願書類及び納入された入学検定料は原則として返還しません。**
また、提出後の分野の変更は認めません。

7 入学定員

《博士前期課程》

専攻名	文芸学	映像芸術	造形芸術	音楽芸術	舞台芸術	計
入学定員	20名	20名	15名	10名	10名	75名

《博士後期課程》

芸術専攻	一般入試	社会人入試	計
入学定員	5名	3名	8名

8 令和4年度（2022年度）大学院芸術学研究科入学者の授業校舎

日本大学芸術学部江古田校舎

〒176-8525 東京都練馬区旭丘2-42-1

（池袋駅より西武池袋線各駅停車にて江古田駅下車 北口より徒歩1分）

大学院入試に関する問い合わせ先

電話 03-5995-8202

email art.graduateschool@nihon-u.ac.jp 芸術学部教務課大学院係

月～金曜日 9:00～17:00, 土曜日 9:00～正午までです。

※祝祭日及び事務休業日を除きます。

令和4年度（2022年度）大学院入学試験 小論文試験・実技試験・論文試験等の詳細

博士前期課程《外国人留学生入学試験・一般入学試験》

専攻	小論文試験・実技試験等の詳細
文芸学	小論文試験 試験当日に与えられたテーマで記述する
映像芸術	小論文試験（全分野を対象） 試験当日に与えられたテーマで記述する
造形芸術	1 小論文試験 (コミュニケーションデザイン分野, インダストリアルデザイン分野, 建築デザイン分野, 造形理論分野を対象) 試験当日に与えられたテーマで記述する 2 実技試験（絵画分野, 版画分野, 彫刻分野を対象） ① 絵画分野及び版画分野 デッサン2時間 ② 彫刻分野 デッサン3時間
音楽芸術	1 小論文試験（全分野を対象） 専攻分野にかかわる研究テーマをあらかじめ各自設定し, 記述する 2 実技試験（声楽分野, 器楽分野, 音楽学分野を対象） ① 作曲分野 なし ② 声楽分野 任意の声楽曲（計10分以上20分以内。暗譜） ③ 器楽分野 各自の専攻する器楽曲（計10分以上20分以内。暗譜） ※ ピアノ以外の楽器で受験する場合は, 事前に問い合わせること ④ 音楽学分野 任意の楽器（声を含む）の演奏（3分程度以上。暗譜の必要はない） ⑤ 音楽教育分野 なし ⑥ 情報音楽分野 なし
舞台芸術	小論文試験 試験当日に与えられたテーマで記述する

※ 学部内選考入学試験において, 必要となる小論文試験及び実技試験の詳細については, 令和3年9月下旬頃に配布予定の入学試験要項をご覧ください。過年度の詳細は, 芸術学部教務課大学院係までお問い合わせください。

博士後期課程《外国人留学生入学試験・一般入学試験・社会人入学試験》

専攻	論文試験の詳細
芸術	論文試験 試験当日に与えられたテーマで記述する

※ 小論文試験・論文試験ともテーマ・字数・時間等は原則として当日の試験時に指示します。

※ 小論文試験・論文試験ともすべて辞書参照不可です。

令和4年度（2022年度）大学院入学試験 審査のための提出作品・論文等の詳細

博士前期課程《外国人留学生入学試験・一般入学試験》

専攻	提出作品・論文の詳細
文芸学	なし
映像芸術	<p>◆次のいずれかを提出すること（1～5は入学後の研究領域に属するものとする）</p> <p>1 写真作品 1テーマ20点以上のプリント（サイズは8インチ×10インチ判あるいはA4版以上）を台紙に貼付すること。B/W，カラーいずれも可</p> <p>2 映像作品 提出作品は1本で30分程度を原則とする。 （アニメーション，アート作品などで，連作や1本数分の短編の場合，複数の提出も可とする） 提出作品については以下の要件を十分確認すること。 ※ 言語が日本語でない場合は日本語字幕スーパーをつけることが望ましい。 それができない場合は，日本語による概要を添付すること。 ※ 日本語によるスタッフ表（本人の担当を明記）を添付すること。 ※ DVDビデオ・BDビデオで提出する場合は，日本で再生できる方式・リージョンにすること。 必ずファイナライズされたものを提出すること。 ※ フラッシュメモリ等でデータ提出する場合は，提出時の最新のWindows Media Player，または，QuickTime Playerで再生できるものにすること。 ※ フィルム（8mm，16mm，35mm）も可。 ※ 作品の分数，また音声チャンネル等の再生指定がある場合はその情報を明記すること。</p> <p>3 シナリオ作品（紙媒体で提出のこと）</p> <p>4 音響作品 ※ ディスク，データで提出どちらでもかまわないが，映像作品に準じ日本で再生できるもの，また特別な再生指示がある場合は明記すること。 ※ 作品の分数を明記し，スタッフがいる場合はその表（本人の担当を明記）を添付すること。</p> <p>5 論文 日本語によるもの（特別な理由がある場合は外国語も可）とする。 4，000字程度の日本語による概要を添付すること。</p>
造形芸術	<p>◆次のいずれかを提出すること</p> <p>1 絵画分野 絵画作品50号以上3点</p> <p>2 版画分野 版画作品5点以上</p> <p>3 彫刻分野 彫刻作品を撮影した写真をまとめたファイル1冊</p> <p>4 コミュニケーションデザイン分野 作品3点以上（作品を撮影した写真をまとめたファイル1冊でも可）</p> <p>5 インダストリアルデザイン分野 作品3点以上（作品を撮影した写真をまとめたファイル1冊でも可）</p> <p>6 建築デザイン分野 作品3点以上（作品を撮影した写真をまとめたファイル1冊でも可）</p> <p>7 造形理論分野 日本語による論文 ※概要を添付すること</p>

音楽芸術	<p>◆次のいずれかを提出すること</p> <p>1 作曲分野 自作品の楽譜（2点を限度とする。編成や長さは問わない。録音CDを添付することも可）</p> <p>2 声楽分野 なし</p> <p>3 器楽分野 なし</p> <p>4 音楽学分野 日本語または英語による音楽系の論文またはレポート（2点を限度とする。長さは問わない）</p> <p>5 音楽教育分野 日本語による音楽教育に関連する論文1本（卒業論文を含む）またはレポート2点（授業等で提出済みもの）</p> <p>6 情報音楽分野 作品・ポートフォリオまたは論文（言語は問わず）を提出すること</p>
舞台芸術	<p>◆次のいずれかを提出すること（1～4は入学後の研究領域に属するものとする）</p> <p>1 映像資料 本人の出演・創舞・演出に該当する場合のみ ビデオテープ・DVD・BD（日本国内で一般的に再生可能なものに限る）等の舞台映像資料 ※ 映像資料は1本とする ※ チラシまたはパンフレットの写し等、必ず本人の担当や名前などが明記されているものを添付すること ※ DVD・BDはファイナライズしておくこと</p> <p>2 戯曲 舞台用に本人が創作した戯曲 戯曲は1本とし、実際に舞台上演されたもの、または戯曲集やそれに相当する媒体に掲載されたもの ※ 舞台上演されたものは実際に使用した台本（チラシまたはパンフレットも添付）を提出すること ※ 戯曲集など書籍収録の場合は、実物またはコピーを提出すること。その場合は、必ず表紙・目次・奥付も添付すること</p> <p>3 舞台資料 今までに関わった舞台等（3作品を限度とする）の「ポートフォリオ（舞台資料）」</p> <p>4 論文 日本語によるもの ※ 概要を添付すること</p>

※ 作品・論文を提出する際は、自己の作品・論文であることを証明する担当教員の書類（本研究科所定用紙）を添付し、上記のいずれかを出願専攻、氏名を明記の上、試験区分ごとの出願受付期間最終日までに必着するよう芸術学部教務課あて持参または郵送してください。

（絵画作品等の大きい作品については別途、指示します。）

※ 提出作品・論文は、試験終了後、返却します。

※ 学部内選考入学試験において、必要となる提出作品・論文の詳細については、令和3年9月下旬頃に配布予定の入学試験要項をご覧ください。過年度の詳細は、芸術学部教務課大学院係までお問い合わせください。

博士後期課程《外国人留学生入学試験・一般入学試験・社会人入学試験》

区分	提出作品・論文の詳細
外国人留学生 及び 一般	<p>◆次のいずれかを提出すること</p> <p>1 論文の場合 日本語による論文と日本語による概要（４，０００字程度） 大学院博士前期（修士）課程修了時の修士論文，またはそれに代わる論文</p> <p>2 作品の場合（①・②はいずれも入学後の研究領域に属するものとする） 修了作品等で副論文がある場合は添付すること</p> <p>① 写真作品 １テーマ20点以上のプリント（サイズは8インチ×10インチ判あるいはA4版以上）を台紙に貼付すること。B/W，カラーいずれも可</p> <p>② 映像作品 提出作品は1本で30分程度を原則とする。 （アニメーション，アート作品などで，連作や1本数分の短編の場合，複数の提出も可とする） 提出作品については以下の要件を十分確認すること。 ※ 言語が日本語でない場合は日本語字幕スーパーをつけることが望ましい。 それができない場合は，日本語による概要を添付すること。 ※ 日本語によるスタッフ表（本人の担当を明記）を添付すること。 ※ DVDビデオ・BDビデオで提出する場合は，日本で再生できる方式・リージョンにすること。 必ずファイナライズされたものを提出すること。 ※ フラッシュメモリ等でデータ提出する場合は，提出時の最新のWindows Media Player，または，QuickTime Playerで再生できるものにすること。 ※ フィルム（8mm，16mm，35mm）も可。 ※ 作品の分数，また音声チャンネル等の再生指定がある場合はその情報を明記すること。</p> <p>③ 絵画 絵画作品50号以上3点</p> <p>④ 版画 版画作品5点以上</p> <p>⑤ 彫刻 彫刻作品を撮影した写真をまとめたファイル1冊</p> <p>⑥ コミュニケーションデザイン 作品3点以上（作品を撮影した写真をまとめたファイル1冊でも可）</p> <p>⑦ インダストリアルデザイン 作品3点以上（作品を撮影した写真をまとめたファイル1冊でも可）</p> <p>⑧ 建築デザイン 作品3点以上（作品を撮影した写真をまとめたファイル1冊でも可）</p> <p>⑨ 作曲 作曲の場合は作品2点以上の楽譜（そのうち1点は音源CD）を提出</p> <p>⑩ 演奏 演奏の場合は演奏を録音したCD（声楽は30分程度，器楽は40分程度）を提出</p>
社会人	<p>上記論文・作品いずれかに加え， ◆研究業績報告書《所定用紙》 場合により業績現物の提出を求めることもある</p>

- ※ 作品・論文を提出する際は，自己の作品・論文であることを証明する担当教員の書類（本研究科所定用紙）を添付し，上記のいずれかを出願専攻，氏名を明記の上，試験区分ごとの出願受付期間最終日までに必着するよう芸術学部教務課あて持参または郵送してください。
（絵画作品等の大きい作品については別途，指示します。）
- ※ 提出作品・論文は，試験終了後，返却します。

令和4年度（2022年度）日本大学大学院芸術学研究科入学試験出願資格

1 博士前期課程一般入学試験

- ① 大学を卒業した者及び2022年3月までに卒業見込みの者
- ② 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者及び2022年3月までに学位を授与される見込みの者
- ③ 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び2022年3月までに修了見込みの者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び2022年3月までに修了見込みの者
- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び2022年3月までに修了見込みの者
- ⑥ 外国の大学等において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者及び2022年3月までに授与見込みがある者
- ⑦ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び2022年3月までに修了見込みの者
- ⑧ 文部科学大臣の指定した者
- ⑨ 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
（注 を参照のこと）
- ⑩ 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達したものと及び2022年3月までに22歳に達するもの（注 を参照のこと）

注 出願資格⑨・⑩該当者については、事前に入学資格審査を行いますので、**芸術学部教務課大学院係**あてお問い合わせの上、2021年11月27日までに、入学資格審査申請書、入学資格審査調書及び**入学検定料を除く**出願書類一式を、所定の封筒を使用して芸術学部教務課大学院係あて送付してください。

なお、出願書類は、**入学資格審査が終了するまでその受領を保留**します。

2 博士後期課程一般入学試験

- ① 修士の学位若しくは専門職学位を有する者及び2022年3月までに取得する見込みの者
- ② 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2022年3月までに授与される見込みのある者
- ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2022年3月までに授与される見込みのある者
- ④ 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2022年3月までに授与される見込みのある者
- ⑤ 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び2022年3月までに授与される見込みの者
- ⑥ 外国の学校、第4号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、修士論文又は特定課題の研究成果の審査と試験の合格に代える審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- ⑦ 文部科学大臣の指定した者
- ⑧ 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達したもの及び2022年3月までに24歳に達するもの（注 を参照のこと）

注 出願資格⑧該当者については、事前に入学資格審査を行いますので、**芸術学部教務課大学院係あてお問い合わせの上**、2021年12月18日までに、入学資格審査申請書、入学資格審査調書及び**入学検定料を除く**出願書類一式を、所定の封筒を使用して芸術学部教務課大学院係あて送付してください。

なお、出願書類は、**入学資格審査が終了するまでその受領を保留**します。

3 博士後期課程社会人入学試験

- ① 修士の学位若しくは専門職学位を有する者及び2022年3月までに取得する見込みの者で、日本国内の公共機関、企業等に現に勤務し、入学後も継続して勤務を続ける者
- ② 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達したもの及び2022年3月までに24歳に達するもので、日本国内の公共機関、企業等に現に勤務し、入学後も継続して勤務を続ける者（注 を参照のこと）

注 出願資格②該当者については、事前に入学資格審査を行いますので、**芸術学部教務課大学院係あてお問い合わせの上**、2021年12月18日までに、入学資格審査申請書、入学資格審査調書及び**入学検定料を除く**出願書類一式を、所定の封筒を使用して芸術学部教務課大学院係あて送付してください。

なお、出願書類は、**入学資格審査が終了するまでその受領を保留**します。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

博士前期課程

本学の教育理念である「自主創造」に基づき、芸術の歴史と理論を学び、多様化する高度な表現を論理的かつ批判的に思考し、新たな芸術の研究・表現を創造できる人を求めます。

博士後期課程（芸術専攻）

本学の教育理念である「自主創造」に基づき、芸術の豊かな知識・教養と倫理観を持ち、自ら研究課題を発見・解決する方法を思考し、自立した研究・創作活動に挑戦し、次代の芸術をリードする人を求めます。

選考について

日本大学大学院芸術学研究科では、創造性を評価します。論文（小論文）試験では論理性と発想力を審査します。実技・作品審査では技術と表現力を審査します。外国語試験では各専攻において文献・論文研究に必要な読解力を審査します。

口述試験では各専攻分野で芸術を学ぶための意欲、適性及び人間性を審査します。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

日本大学大学院芸術学研究科では、日本大学教育憲章に基づき、「日本大学の目的及び使命」を理解し、「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」「自ら考える」「自ら道をひらく」能力に基づく、芸術・文化全般に対して国際的視野を備え、本研究科の修了要件を満たした者に、学位を授与する。

博士前期課程では、文芸学、映像芸術、造形芸術、音楽芸術、舞台芸術各専攻の修了要件を満たし、各研究分野における理論と歴史を専門的に探究する力を持ち、問題を自ら解決するために、芸術の研究と表現を磨き、その能力を社会に生かす姿勢を持つことが、課程修了の基準である。

博士後期課程では、芸術の研究者、創作者として自立するための高度な専門的知識と能力を身につけ、独力で新たな研究、創作の問題を見出し、解決させ、社会に貢献できるようになることが、課程修了の基準である。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

日本大学大学院芸術学研究科では、日本大学教育憲章に基づき、学位授与の方針に沿って教育課程を編成し実施する。

博士前期課程では、文芸学、映像芸術、造形芸術、音楽芸術、舞台芸術の5つの専攻を置き、21世紀の芸術が担う社会的先導性を身につけることを目標とする。基礎的素養と各専攻の専門知識を培うと同時に、専攻の壁を越えて学生の知的関心に応じるべく、相互に関連する広範囲の科目を配置し、修士論文・作品の研究を個別に指導する。憲章の8つの能力を養成するとともに、芸術分野の多岐にわたる授業科目を体系化し、講義・演習・実習・実技等の授業形態を組み入れた学修方法による教育課程を編成し、実施する。

博士後期課程では、指導教員により、論文作成における多岐にわたるアドバイスをを行うとともに、研究成果発表のプレゼンテーション能力を強化し、体系的にコースワークとリサーチワークを組み合わせた体系的な授業形態を組み入れ、学生自身が独力で問題設定から解決までできることを目指した教育課程を編成し、実施する。

文芸学専攻				
授業科目	単位数	履修年次	履修規定	授業担当者
A. 理論部門				
文芸学特論Ⅰ	4	1・2	左記のうちから、分野を問わず30単位以上を選択履修しなければならない	上田 薫・植月恵一郎
文芸学特論Ⅱ	4	〃		上田 薫
哲学特論	4	〃		伊藤博明
芸術心理学特論	4	〃		野村康治
文芸情報学特論	4	〃		ジュリアン マニング
マスコミュニケーション論	4	〃		藤代裕之
メディア論	4	〃		小野永貴・松本 洸
文芸史特論	4	〃		山内 淳
芸術社会学特論	4	〃		三宅理一
文芸表現特論	4	〃		浅沼 璞・山本雅男
B. 研究・創作部門				
外国文芸特殊研究	4	1～2	1科目選択必修	久保陽子・ジュリアン マニング・
日本文芸特殊研究	4	〃		浅沼 璞・上田 薫・ソコロワ山下聖美
文芸創作特殊研究	4	〃		青木敬士・楊 逸
外国文芸特論Ⅰ	4	1		植月恵一郎・堀 邦維・山内 淳・久保陽子・山本雅男
外国文芸特論Ⅱ	4	2		堀 邦維・山内 淳・久保陽子
日本文芸特論Ⅰ	4	1		ソコロワ山下聖美・上坪裕介・谷村順一・清水 正
日本文芸特論Ⅱ	4	2		ソコロワ山下聖美・上坪裕介・谷村順一・清水 正
文芸創作特論Ⅰ	4	1		青木敬士・楊 逸
文芸創作特論Ⅱ	4	2		青木敬士・楊 逸
C. 関連領域部門				
芸術学特論	4	1・2		上田 薫・村山匡一郎・渡部葉子
リサーチ特殊研究Ⅰ	2	〃		志村三代子
リサーチ特殊研究Ⅱ	2	〃		松本 洸
映画史特論	4	〃		志村三代子・村山匡一郎
放送史特論	4	〃		
日本美術史特論Ⅰ	2	〃		大熊敏之・金子啓明
日本美術史特論Ⅱ	2	〃		田口文哉・金子啓明
西洋美術史特論Ⅰ	2	〃		木村三郎・出羽尚
西洋美術史特論Ⅱ	2	〃		木村三郎・出羽尚
日本音楽史特論	4	〃		
西洋音楽史特論	4	〃		平野 昭
演劇史特論	4	〃		法月敏彦
D. 連携研究部門				
連携理論研究Ⅰ	2	1		久保陽子
連携理論研究Ⅱ	2	〃		久保陽子
連携表現研究Ⅰ	2	〃		久保陽子
連携表現研究Ⅱ	2	〃		久保陽子
学位論文・作品				

注) 履修年の1・2は1年次又は2年次に履修すること

カリキュラム・授業担当者等は事情により変更される場合があります

<修了要件>

- ① 2年以上在学し、履修規定に則り30単位以上を修得すること
- ② 学位論文等を提出し、最終審査及び試験に合格すること
- ③ 規定の学費を完納していること

映像芸術専攻					
授業科目	単位数	履修年次	履修規定	授業担当者	
A. 理論部門					
映像特論	4	1	左記のうちから、分野を問わず30単位以上を選択履修しなければならない	鳥山正晴	
写真史特論	4	1・2		高橋則英	
映画史特論	4	〃		志村三代子・村山匡一郎	
放送史特論	4	〃			
映像構成特論	4	〃		相内啓司・手塚昌明	
映像技術特論	4	〃			
映像音響特論	4	〃		眞道正樹	
映像教育研究	4	〃			
B. 演習・実習部門					
映像表現研究Ⅰ	4	1～2		1科目選択必修	浅井 譲・齊藤裕人・鳥山正晴・松島哲也
写真特殊研究Ⅰ	4	〃	西垣仁美		
映画特殊研究Ⅰ	4	〃	古賀 太		
放送特殊研究Ⅰ	4	〃			
映像メディア特殊研究Ⅰ	4	〃	奥野邦利		
映像作品特殊研究Ⅰ	4	〃	西垣仁美・鳥山正晴・鈴木康弘・星野 裕・中町綾子		
映像技術特殊研究Ⅰ	4	〃			
映像表現研究Ⅱ	2	1・2	浅井 譲・田中里実・服部一人・上倉 泉・大谷尚子・松島哲也・増田治宏・清水和貴・原 直久・近森眞史・青木研次・花柳貴答・宮澤誠一・福田卓郎		
写真特殊研究Ⅱ	2	〃	高橋則英・西垣仁美		
映画特殊研究Ⅱ	2	〃	古賀 太・増田治宏・村山匡一郎・山田 均		
放送特殊研究Ⅱ	2	〃	兼高聖雄		
映像メディア特殊研究Ⅱ	2	〃	横田正夫		
映像作品特殊研究Ⅱ	2	〃	佐藤英裕・西垣仁美・鈴木康弘・中町綾子・野田慶人・星野 裕・森中慎也・安部 裕・茅原良平・金 龍郎・寺脇 研		
映像技術特殊研究Ⅱ	2	〃	秋元貴美子・上倉 泉・玉木則順・落合賢一		
C. 関連領域部門					
芸術学特論	④	1		上田 薫・村山匡一郎・渡部葉子	
リサーチ特殊研究Ⅰ	2	1・2		志村三代子	
リサーチ特殊研究Ⅱ	2	〃		松本 洸	
文芸学特論Ⅰ	4	〃		上田 薫・植月恵一郎	
文芸学特論Ⅱ	4	〃		上田 薫	
哲学特論	4	〃		伊藤博明	
芸術心理学特論	4	〃		野村康治	
文芸情報学特論	4	〃		ジュリアン マニング	
マスコミュニケーション論	4	〃		藤代裕之	
メディア論	4	〃		小野永貴・松本 洸	
文芸史特論	4	〃		山内 淳	
芸術社会学特論	4	〃		三宅理一	
造形特論	4	1		大西若人・山中敏正	
建築造形特論	4	〃		三宅理一	
デザイン史特論Ⅰ	2	1・2		西川 潔・小林昭世	
デザイン史特論Ⅱ	2	〃		西川 潔・小林昭世	
建築デザイン史特論Ⅰ	2	〃		若原一貴	
建築デザイン史特論Ⅱ	2	〃		若原一貴	
日本美術史特論Ⅰ	2	〃		大熊敏之・金子啓明	
日本美術史特論Ⅱ	2	〃		田口文哉・金子啓明	
西洋美術史特論Ⅰ	2	〃		木村三郎・出羽 尚	
西洋美術史特論Ⅱ	2	〃		木村三郎・出羽 尚	
音楽芸術特論Ⅰ	4	1		笠羽映子	
音楽芸術特論Ⅱ	4	1・2		平野 昭	
日本音楽史特論	4	〃			
西洋音楽史特論	4	〃		平野 昭	
情報音楽特論	4	〃		岩宮眞一郎	
音楽心理学特論	4	〃		大寺雅子	
舞台芸術特論	4	1		范 旅	
演劇史特論	4	1・2		法月敏彦	
民俗芸能特論	4	〃		宮尾慈良	
舞踊史特論	4	〃		丸茂祐佳・貫 成人	
古典劇特論	4	〃		小田幸子	
映像文献原典講読	4	〃		堀 邦維	
D. 連携研究部門					
連携理論研究Ⅰ	2	1		鳥山正晴	
連携理論研究Ⅱ	2	〃		鳥山正晴	
連携表現研究Ⅰ	2	〃		鳥山正晴	
連携表現研究Ⅱ	2	〃		鳥山正晴	
学位論文・作品・制作					

注) 履修年の1・2は1年次又は2年次に、1～2は2年間通して履修すること

単位数の○数字は必修単位を示す

カリキュラム・授業担当者等は事情により変更される場合があります

<修了要件>

- ① 2年以上在学し、履修規定に則り30単位以上を修得すること
- ② 学位論文等を提出し、最終審査及び試験に合格すること
- ③ 規定の学費を完納していること

造形芸術専攻					
授業科目	単位数	履修年次	履修規定	授業担当者	
A. 理論部門					
造形特論	4	1	左記のうちから、分野を問わず30単位以上を選択履修しなければならない。ただし、デザイン実務研究は修了に必要な単位数に算入しない。	大西若人・山中敏正	
建築造形特論	4	1		三宅理一	
日本美術史特論Ⅰ	2	1・2		大熊敏之・金子啓明	
日本美術史特論Ⅱ	2	1		田口文哉・金子啓明	
西洋美術史特論Ⅰ	2	1		木村三郎・出羽尚	
西洋美術史特論Ⅱ	2	1		木村三郎・出羽尚	
デザイン史特論Ⅰ	2	1		西川 潔・小林昭世	
デザイン史特論Ⅱ	2	1		西川 潔・小林昭世	
建築デザイン史特論Ⅰ	2	1		若原一貴	
建築デザイン史特論Ⅱ	2	1		若原一貴	
美術教育研究Ⅰ	2	1		金澤健一	
美術教育研究Ⅱ	2	1		金澤健一	
B. 演習・実習部門					
造形芸術研究Ⅰ(絵画・版画)	4	1～2		1科目選択必修	笹井祐子・福島唯史・瀬島 匠
造形芸術研究Ⅰ(彫刻)	4	1～2	大槻孝之・鞍掛純一		
造形芸術研究Ⅰ(デザイン)	4	1～2	木村政司・森 香織・佐藤 徹		
造形理論研究Ⅰ	4	1～2	1科目選択必修	笠井則幸・長瀬浩明	
造形芸術研究Ⅱ(絵画・版画)	2	1・2		大熊敏之・熊谷廣己	
造形芸術研究Ⅱ(彫刻)	2	1・2		大庭英治・笹井祐子・福島唯史・瀬島 匠・	
造形芸術研究Ⅱ(デザイン)	2	1・2		木下 晋・松下サトル・吉岡正人	
造形理論研究Ⅱ	2	1・2		鞍掛純一・寺内曜子	
絵画特殊研究Ⅰ	2	1・2		森 香織・佐藤徹・長瀬浩明・笠井則幸・	
絵画特殊研究Ⅱ	2	1・2		大熊敏之・木村三郎・山中敏正	
版画特殊研究Ⅰ	2	1・2		赤木範陸	
版画特殊研究Ⅱ	2	1・2		吉岡正人	
彫刻特殊研究Ⅰ	2	1・2		作田富幸・八木なぎさ	
彫刻特殊研究Ⅱ	2	1・2		作田富幸	
デザイン特殊研究Ⅰ	2	1・2		飯田竜太・蔵屋美香	
デザイン特殊研究Ⅱ	2	1・2		海崎三郎	
デザイン特殊研究Ⅲ	2	1・2		栗芝正臣	
デザイン特殊研究Ⅳ	2	1・2	肥田不二夫・西川潔		
絵画作品研究Ⅰ	2	1・2	山本守和・松本有		
絵画作品研究Ⅱ	2	1・2	大庭英治・木下晋		
版画作品研究Ⅰ	2	1・2	吉岡正人		
版画作品研究Ⅱ	2	1・2	野口玲一		
彫刻作品研究Ⅰ	2	1・2	西尾 彩		
彫刻作品研究Ⅱ	2	1・2	鷹尾俊一		
デザイン作品研究Ⅰ	2	1・2	大槻孝之		
デザイン作品研究Ⅱ	2	1・2	池田光宏・肥田不二夫		
デザイン作品研究Ⅲ	2	1・2	木村政司		
デザイン作品研究Ⅳ	2	1・2	小林昭世		
デザイン実務研究	4	1・2	森 香織		
C. 関連領域部門					
芸術学特論	4	1		上田薫・村山匡一郎・渡部葉子	
リサーチ特殊研究Ⅰ	2	1・2		志村三代子	
リサーチ特殊研究Ⅱ	2	1・2		松本 洸	
文芸学特論Ⅰ	4	1		上田 薫・植月恵一郎	
哲学特論	4	1		伊藤博明	
文芸情報学特論	4	1		ジュリアン マニング	
映像特論	4	1		鳥山正晴	
写真史特論	4	1・2		高橋則英	
映画史特論	4	1・2		志村三代子・村山匡一郎	
放送史特論	4	1・2			
音楽芸術特論Ⅰ	4	1		笠羽映子	
日本音楽史特論	4	1・2			
西洋音楽史特論	4	1・2		平野 昭	
情報音楽特論	4	1・2		岩宮眞一郎	
音楽心理学特論	4	1・2		大寺雅子	
舞台芸術特論	4	1		范 旅	
演劇史特論	4	1・2		法月敏彦	
民俗芸能特論	4	1・2		宮尾慈良	
古典劇特論	4	1・2		小田幸子	
芸術心理学特論	4	1・2		野村康治	
芸術社会学特論	4	1・2		三宅理一	
造形文献原典講読	4	1・2		木村三郎	
D. 連携研究部門					
連携理論研究Ⅰ	2	1		大槻孝之	
連携理論研究Ⅱ	2	1		大槻孝之	
連携表現研究Ⅰ	2	1		大槻孝之	
連携表現研究Ⅱ	2	1		大槻孝之	
学位論文・作品・制作					

注) 履修年の1・2は1年次又は2年次に、1～2は2年間通して履修すること

カリキュラム・授業担当者等は事情により変更される場合があります

<修了要件>

- ① 2年以上在学し、履修規定に則り30単位以上を修得すること
- ② 学位論文等を提出し、最終審査及び試験に合格すること
- ③ 規定の学費を完納していること

音楽芸術専攻				
授業科目	単位数	履修年次	履修規定	授業担当者
A. 理論部門				
音楽芸術特論Ⅰ	4	1	左記のうちから、分野を問わず30単位以上を選択履修しなければならない	笠羽映子
音楽芸術特論Ⅱ	4	1・2		平野 昭
日本音楽史特論	4	〃		
西洋音楽史特論	4	〃		平野 昭
情報音楽特論	4	〃		岩宮眞一郎
音楽教育特論	4	〃		江間孝子
音楽心理学特論	4	〃		大寺雅子
B. 演習・実習部門				
作曲特殊研究	4	1～2	1科目選択必修	伊藤弘之
声楽特殊研究	4	〃		齊田正子
器楽特殊研究	4	〃		田代幸弘・萩原貴子
音楽学研究	4	〃		伊藤弘之
音楽教育研究	4	〃		
情報音楽研究	4	〃		川上 央・高久 暁
音楽理論研究Ⅰ	2	1		伊藤弘之・川上 央・高久 暁・大寺雅子・三戸勇氣・岩宮眞一郎
音楽理論研究Ⅱ	2	2		伊藤弘之・川上 央・高久 暁・大寺雅子・三戸勇氣・吉野大輔・岩宮眞一郎
音楽表現研究Ⅰ	2	1		伊藤弘之・齊田正子・田代幸弘・萩原貴子・佐々木伸・楊 麗貞
音楽表現研究Ⅱ	2	2		伊藤弘之・齊田正子・田代幸弘・萩原貴子・佐々木伸・楊 麗貞・松本 明
音楽作品研究	2	1・2	今泉 久・齊田正子・楊 麗貞	
指揮研究	2	〃	今泉 久	
C. 関連領域部門				
芸術学特論	④	1		上田 薫・村山匡一郎・渡部葉子
リサーチ特殊研究Ⅰ	2	1・2		志村三代子
リサーチ特殊研究Ⅱ	2	〃		松本 洗
造形特論	4	1		大西若人・山中敏正
映像特論	4	〃		鳥山正晴
映像構成特論	4	1・2		相内啓司・手塚昌明
映像音響特論	4	〃		眞道正樹
放送史特論	4	〃		
演劇史特論	4	〃		法月敏彦
舞踊史特論	4	〃		丸茂祐佳・貫 成人
民俗芸能特論	4	〃		宮尾慈良
日本美術史特論Ⅰ	2	〃		大熊敏之・金子啓明
日本美術史特論Ⅱ	2	〃		田口文哉・金子啓明
西洋美術史特論Ⅰ	2	〃		木村三郎・出羽 尚
西洋美術史特論Ⅱ	2	〃		木村三郎・出羽 尚
文芸史特論	4	〃		山内 淳
哲学特論	4	〃		伊藤博明
音楽文献原典講読	4	〃		北岡晃子
D. 連携研究部門				
連携理論研究Ⅰ	2	1		伊藤弘之
連携理論研究Ⅱ	2	〃		伊藤弘之
連携表現研究Ⅰ	2	〃		伊藤弘之
連携表現研究Ⅱ	2	〃		伊藤弘之
学位論文・作品・制作				

注) 履修年の1・2は1年次又は2年次に、1～2は2年間通して履修すること

単位数の○数字は必修単位を示す

カリキュラム・授業担当者等は事情により変更される場合があります

<修了要件>

- ① 2年以上在学し、履修規定に則り30単位以上を修得すること
- ② 学位論文等を提出し、最終審査及び試験に合格すること
- ③ 規定の学費を完納していること

舞台芸術専攻				
授業科目	単位数	履修年次	履修規定	授業担当者
A. 理論・歴史部門				
舞台芸術特論	4	1	左記のうちから、分野を問わず30単位以上を選択履修しなければならない	范 旅
演劇史特論	4	1・2		法月敏彦
舞踊史特論	4	〃		丸茂祐佳・貫 成人
民俗芸能特論	4	〃		宮尾慈良
古典劇特論	4	〃		小田幸子
応用演劇特論	4	〃		櫻井 歆・小沢 徹
アート・マネジメント特論	4	〃		
B. 演習・実習部門				
舞台表現研究	4	1～2	1科目選択必修	藤崎周平・加藤みや子・中野成樹
舞踊特殊研究	4	〃		丸茂祐佳・范 旅
戯曲特殊研究	4	〃		川村 毅
舞台演出特殊研究	4	〃		神永光規・藤崎周平・尾崎弘征
舞台美術特殊研究	4	〃		大久保恵児・千早正美
古典演劇特殊研究	4	〃		原 一平
民俗芸能特殊研究	4	〃		小林直弥
応用演劇特殊研究	4	〃		奥山 緑
C. 関連領域部門				
芸術学特論	④	1		上田 薫・村山匡一郎・渡部葉子
リサーチ特殊研究Ⅰ	2	1・2		志村三代子
リサーチ特殊研究Ⅱ	2	〃		松本 洸
メディア論	4	〃		小野永貴・松本 洸
映像特論	4	1		鳥山正晴
造形特論	4	〃		大西若人・山中敏正
音楽芸術特論Ⅰ	4	〃		笠羽映子
音楽芸術特論Ⅱ	4	1・2		平野 昭
映画史特論	4	〃		志村三代子・村山匡一郎
放送史特論	4	〃		
映像音響特論	4	〃		眞道正樹
音楽心理学特論	4	〃		大寺雅子
演劇文献原典講読	4	〃		植月恵一郎
D. 連携研究部門				
連携理論研究Ⅰ	2	1		范 旅
連携理論研究Ⅱ	2	〃		范 旅
連携表現研究Ⅰ	2	〃		范 旅
連携表現研究Ⅱ	2	〃		范 旅
学位論文・作品・制作				

注) 履修年の1・2は1年次又は2年次に、1～2は2年間通して履修すること

単位数の○数字は必修単位を示す

カリキュラム・授業担当者等は事情により変更される場合があります

<修了要件>

- ① 2年以上在学し、履修規定に則り30単位以上を修得すること
- ② 学位論文等を提出し、最終審査及び試験に合格すること
- ③ 規定の学費を完納していること

芸術専攻				
授業科目	単位数	履修年次	履修規定	授業担当者
<p>A理論・歴史研究領域から必修単位を含めて4単位以上、B表現研究領域から2単位以上およびC特定研究領域4単位の合計10単位以上を修得しなければならない</p>				
A. 理論・歴史研究領域				
芸術学特殊研究	②	1	1科目選択必修	伊藤博明・蔵屋美香
映像理論特殊研究	2	1・2		村山匡一郎
写真史特殊研究	2	〃		
映画史特殊研究	2	〃		古賀 太
写真技術特殊研究	2	〃		
映像技術特殊研究	2	〃		上倉 泉
造形理論特殊研究	2	〃		大熊敏之・小林昭世・西川 潔・山中敏正
美術史特殊研究	2	〃		木村三郎・大熊敏之・金子啓明
デザイン史特殊研究	2	〃		
文芸理論特殊研究	2	〃		上田 薫
文芸史特殊研究	2	〃		清水 正・山本雅男
舞台芸術理論特殊研究	2	〃		
演劇史特殊研究	2	〃		
メディア・コミュニケーション特殊研究	2	〃		松本 洸・草原真知子
B. 表現研究領域				
映像表現特別研究	2	1・2	1科目選択必修	奥野邦利・齊藤裕人・鳥山正晴・松島哲也・鈴木康弘・中町綾子・野田慶人・星野 裕・森中慎也・宮澤誠一・福島唯史・木村政司・森香織
造形表現特別研究	2	〃		
文芸表現特別研究	2	〃		楊 逸
舞台表現特別研究	2	〃		
音楽表現特別研究	2	〃		田代幸弘・萩原貴子・楊 麗貞
C. 特定研究領域				
芸術研究特別演習	④	1～2		浅沼 璞・ソコロワ山下聖美・楊 逸・古賀 太・鳥山正晴・松島哲也・兼高聖雄・大熊敏之・福島唯史・森 香織・伊藤弘之・川上 央・田代幸弘・萩原貴子・高久 暁
学位論文				

注) 履修年の1・2は1年次又は2年次に、1～2は2年間通して履修すること

単位数の○数字は必修単位を示す

カリキュラム・授業担当者等は事情により変更される場合があります

<修了要件>

- ① 3年以上在学し、履修規定に則り10単位以上を修得すること
- ② 学位論文を提出し、最終審査および試験に合格すること
- ③ 規定の学費を完納していること

◆令和4年度（2022年度）入学者 博士前期課程研究指導教授一覧

専攻	教員氏名
文芸学	青木敬士
	上田薫
	久保陽子
	ジュリアン マニング
	楊逸
	ソコロワ山下聖美
映像芸術	西垣仁美
	奥野邦利
	上倉泉
	古賀太
	齊藤裕人
	志村三代子
	玉木則順
	鳥山正晴
	松島哲也
	兼高聖雄
	鈴木康弘
	中町綾子
	星野裕
	森中慎也

専攻	教員氏名
造形芸術	大熊敏之
	笹井祐子
	鞍掛純一
	瀬島匠
	福島唯史
	笠井則幸
	佐藤徹
	長瀬浩明
音楽芸術	森香織
	伊藤弘之
	萩原貴子
	川上央
	齊田正子
	高久暁
舞台芸術	田代幸弘
	奥山緑
	小林直弥
	櫻井歆
范旅	

- ◎ 各教員の専門領域の詳細は芸術学研究科ホームページ等を参照してください。
- ◎ 出願書類「研究計画概要書」の**希望指導教授は、上表を参照してください。記入に際しては、必ず事前に芸術学部教務課大学院係にお問い合わせください。**
- ◎ 上表の内容は**令和3年（2021）年4月現在**のものです。教員についての変更等が生じる可能性があります。

◆令和4年度（2022年度）入学者 博士後期課程研究指導教授一覧

教員氏名	研究指導領域
上 田 薫	文 芸
楊 逸	
ソコロワ山下聖美	
西 垣 仁 美	映 像
奥 野 邦 利	
上 倉 泉	
古 賀 太	
齊 藤 裕 人	
玉 木 則 順	
志 村 三代子	
鳥 山 正 晴	
松 島 哲 也	
兼 高 聖 雄	
中 町 綾 子	
星 野 裕	
森 中 慎 也	

教員氏名	研究指導領域
福 島 唯 史	造 形
鞍 掛 純 一	
笹 井 祐 子	
森 香 織	
伊 藤 弘 之	音 楽
菫 原 貴 子	
川 上 央	
高 久 暁	
小 林 直 弥	舞 台
范 旅	

- ◎ 各教員の専門領域の詳細は芸術学研究科ホームページ等を参照してください。
- ◎ 出願書類「研究計画概要書」の**希望指導教員は、上表を参照してください。記入に際しては、必ず事前に芸術学部教務課大学院係にお問い合わせください。**
- ◎ 上表の内容は**令和3年（2021）年4月現在**のもので、教員についての変更等が生じる可能性があります。